

受益者の皆様へ

平成 30 年 2 月
野村アセットマネジメント株式会社

「第 1 回～第 12 回 公社債投資信託」の運用状況について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社運用の投資信託「第 1 回～第 12 回 公社債投資信託」(以下、「公社債投資信託」)につきまして、今後も日本銀行によるマイナス金利政策が継続した場合、基準価額の下落傾向が続くことが想定されますので、改めて運用状況および今後の運用についてご案内申し上げます。

■「公社債投資信託」の運用状況及び今後の運用について

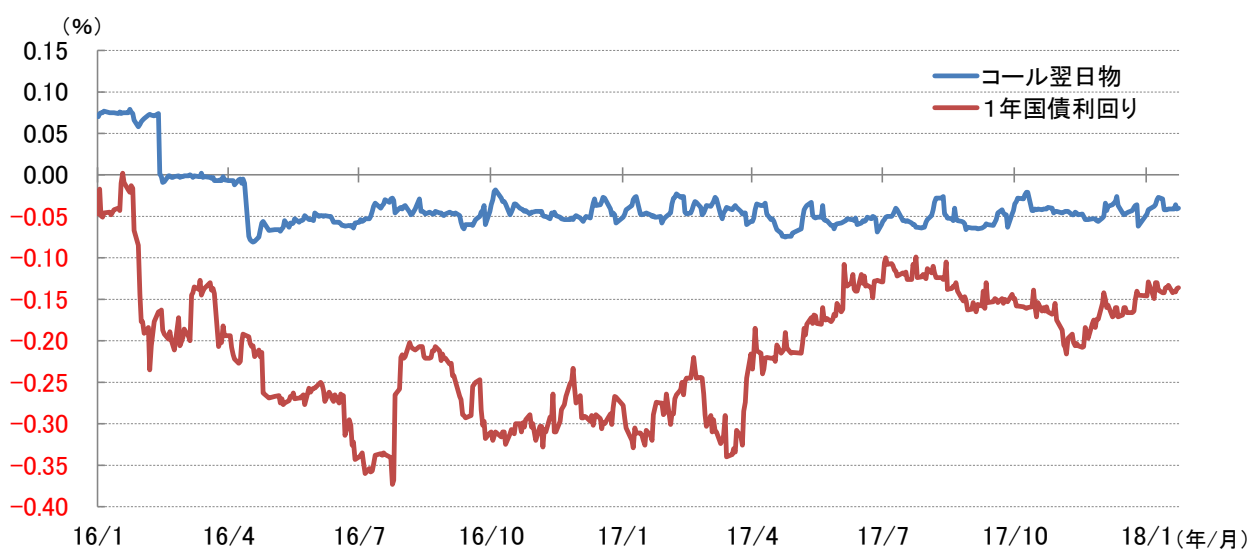
「公社債投資信託」は安定した収益の確保を目指し安定運用を行なうことを方針としており、このもとで残存期間1年以内の円建て公社債を中心にポートフォリオを構築し、運用しておりますが、主要な投資対象となる公社債の利回りや余資(キャッシュ)運用の際のコールローンの金利は、2016年1月の日本銀行によるマイナス金利政策の導入決定以降、マイナス圏で推移しています。

「公社債投資信託」はファンド毎にポートフォリオが異なるため、基準価額の変動につきましても各ファンドにより差がありますが、マイナス金利政策導入以降、各ファンドが公社債等へ投資する際の利回りは主にマイナスとなっており、基準価額の下落傾向が続いています。

今後の運用につきましても、引き続き「公社債投資信託」は安定運用を行なうという方針のもと、残存期間1年以内の公社債を中心に短期金融資産も含め利回りのマイナス幅が小さい投資対象を選定し、運用することを目指します。現在の市場環境下においては、いずれのファンドにつきましてもマイナス利回りの資産による運用が中心となる為、基準価額の下落が続くことが想定されます。

受益者の皆様におかれましてはご留意くださいますようお願い申し上げます。

《日本の短期金利の推移(期間:2016年1月4日～2018年1月26日、日次)》



(出所)ブルームバーグデータを基に野村アセットマネジメント作成

— 上記は過去のデータであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。 —

《(ご参考)「第1回～第12回 公社債投資信託」の基準価額 2018年1月26日現在》

	基準価額	基準価額が 10,000 円を下回った日付
第1回 公社債投資信託	9,999 円	2017年6月20日
第2回 公社債投資信託	9,999 円	2017年6月27日
第3回 公社債投資信託	9,999 円	2017年9月20日
第4回 公社債投資信託	9,998 円	2017年7月31日
第5回 公社債投資信託	9,999 円	2017年9月29日
第6回 公社債投資信託	10,000 円	—
第7回 公社債投資信託	9,999 円	2017年5月25日
第8回 公社債投資信託	9,998 円	2017年1月12日
第9回 公社債投資信託	9,998 円	2017年1月18日
第10回 公社債投資信託	9,998 円	2017年1月26日
第11回 公社債投資信託	9,998 円	2017年3月1日
第12回 公社債投資信託	9,998 円	2017年4月24日

— 上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 —

皆様のご信頼にお応えできますよう引き続き努力してまいります所存でございます。何卒ご理解賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

謹白